

スーパーマーケット景気動向調査

2020年7月調査結果（6月実績）
（2020年7月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

7月調査（6月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は50を下回る

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は、前月から-7.3の45.8、見通し判断は前月から+0.1の35.8となり、現状判断は大きく悪化し、判断の分かれ目となる50を下回った。

経営動向調査では、売上高DI、収益DIは共に二桁のプラスを維持した。土日が一日少ない曜日巡りや買物頻度の抑制により来客数DIは低下したが、家庭内食品需要の高まりによる買い上げ点数の増加により客単価DIは高水準を維持した。また特売の自粛により販売価格DIが二桁プラスを維持したことも支えとなった。

カテゴリー動向調査では、前月同様中食需要の減少に加え、行楽や行事の中止、バラ売り販売の自粛の影響があった惣菜カテゴリーDIのみがマイナスとなった。手作り（調理）向け食品に加え、平均より高い気温で推移したことで夏物商材も好調となり、他のカテゴリーDIは二桁のプラスとなった。また、マスクや衛生用品、家庭用品が好調な非食品DIも引き続き高水準を記録した。一部商品には、キャッシュレス・消費者還元事業終了前の駆け込み消費もみられた。

景況感調査は、景気判断DIや消費者購買意欲DIの現状判断に悪化がみられた。その一方で、店舗周辺地域景気判断DIは横ばい推移となった（長期傾向についてはp11参照）

緊急事態宣言が解除され、保存食品への需要は落ち着きが見られつつある一方で、家庭内調理用食品への需要は高い状態が続いている。消費者の新しい生活への試行錯誤が続くなか、感染拡大以前に戻る消費と戻らない消費の見極めが重要となるだろう。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：45.8 (-7.3)
前月：53.1

消費者購買意欲DI
当月：51.6 (-11.3)
前月：62.9

周辺地域 競合状況DI
当月：44.8 (-3.5)
前月：48.3

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：41.1 (-1.7)
前月：42.8

見通し判断

景気判断DI
当月：35.8 (+0.1)
前月：35.7

消費者購買意欲DI
当月：39.7 (-2.5)
前月：42.2

周辺地域 競合状況DI
当月：42.1 (-0.4)
前月：42.5

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：36.2 (+1.1)
前月：35.1

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：15.3 (-10.4)
前月：25.7

客単価DI
当月：26.1 (-6.3)
前月：32.4

来客数DI
当月：-12.4 (-3.3)
前月：-9.1

収益DI
当月：17.9 (-8.8)
前月：26.7

販売価格DI
当月：10.2 (-1.7)
前月：11.9

生鮮品仕入原価DI
当月：8.5 (-0.4)
前月：8.9

食品仕入原価DI
当月：6.1 (-1.0)
前月：7.1

カテゴリー動向

青果DI
当月：22.8 (-8.3)
前月：31.1

水産DI
当月：17.2 (-3.8)
前月：21.0

畜産DI
当月：18.0 (-14.9)
前月：32.9

惣菜DI
当月：-5.9 (+3.7)
前月：-9.6

日配DI
当月：14.2 (-14.7)
前月：28.9

一般食品DI
当月：12.5 (-10.7)
前月：23.2

非食品DI
当月：21.3 (-0.5)
前月：21.8

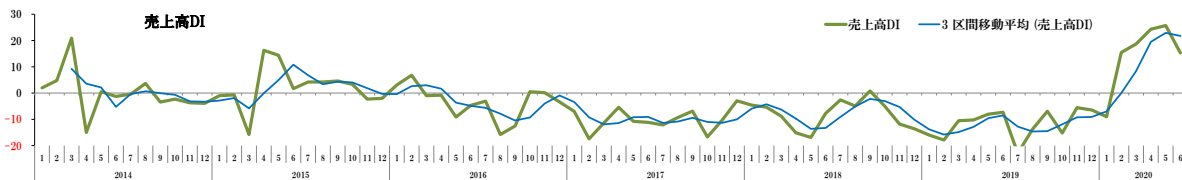
※DI値は前年同月との比較／○内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

前月からプラス幅は縮小も、引き続きプラス値を維持

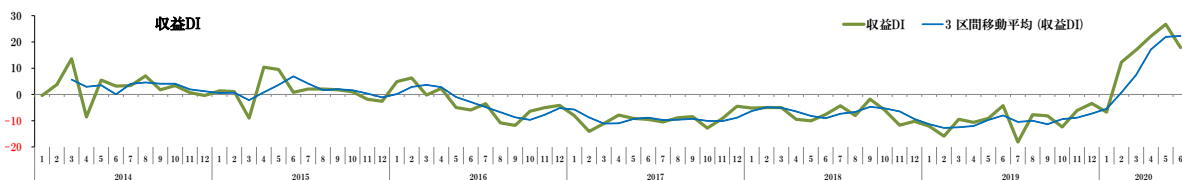
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	5.7	6.3	10.2	35.2	42.6	25.7
売上高 (当月)	6.6	10.8	16.8	46.7	19.2	15.3



2. 収益DI

前月からプラス幅は縮小も、引き続きプラス値を維持

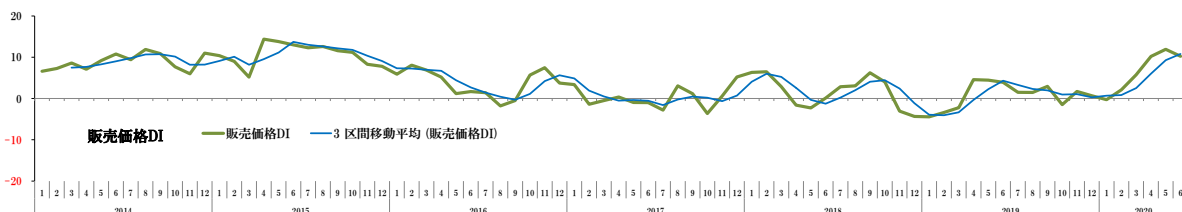
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	4.0	5.7	10.3	39.1	40.8	26.7
収益 (当月)	5.5	10.9	13.3	47.3	23.0	17.9



3. 販売価格DI

前月から横ばいで推移し、二桁プラスが継続

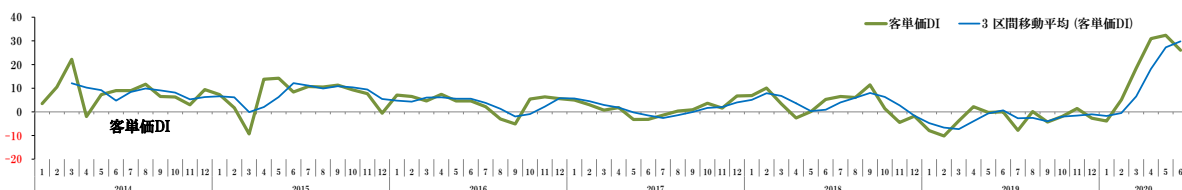
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.6	2.9	54.6	32.2	9.8	11.9
販売価格 (当月)	0.6	3.0	54.8	38.0	3.6	10.2



4. 客単価DI

前月からプラス幅を縮小も、引き続き大幅なプラス値を維持

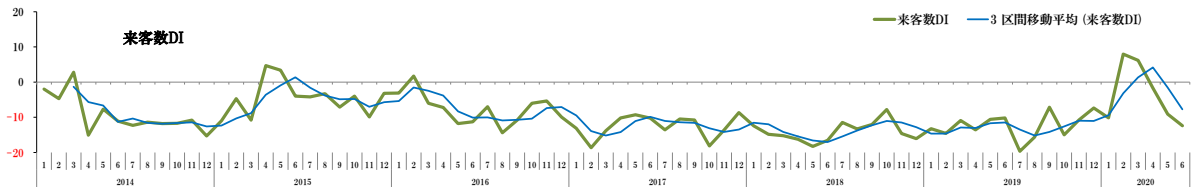
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	5.2	7.5	37.6	49.1	32.4
客単価 (当月)	1.2	4.2	13.9	50.6	30.1	26.1



5. 来客数 DI

当月小幅に下落し二桁マイナスに低下

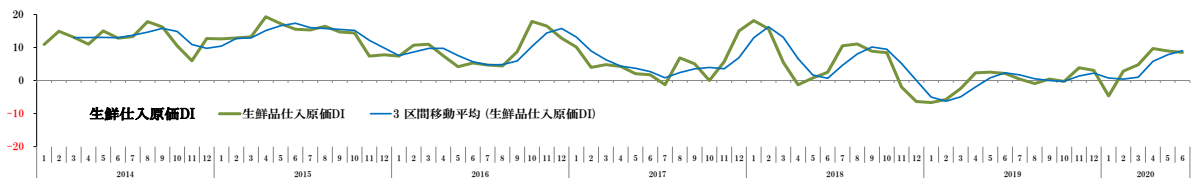
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	19.7	29.5	23.7	22.0	5.2	-9.1
来客数 (当月)	16.2	40.1	25.1	14.4	4.2	-12.4



6. 生鮮仕入原価 DI

プラス幅縮小も、5か月連続でプラス圏を維持

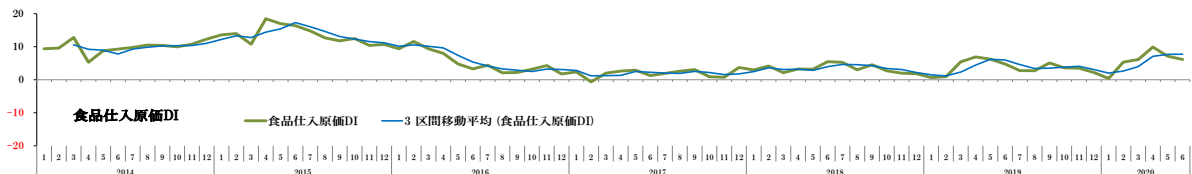
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.6	9.4	52.0	29.8	8.2	8.9
生鮮仕入原価 (当月)	1.2	6.2	54.9	32.7	4.9	8.5



7. 食品仕入原価 DI

プラス圏で底堅い推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.6	4.7	66.3	22.7	5.8	7.1
食品仕入原価 (当月)	0.6	3.7	69.3	23.3	3.1	6.1

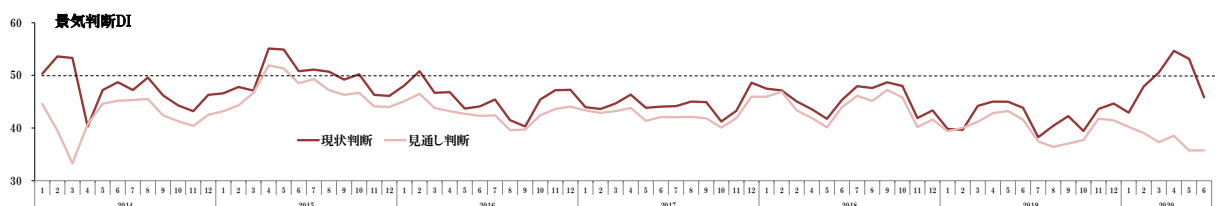


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景気判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

見通し判断は横ばい推移も、現状判断は50を下回る水準まで悪化

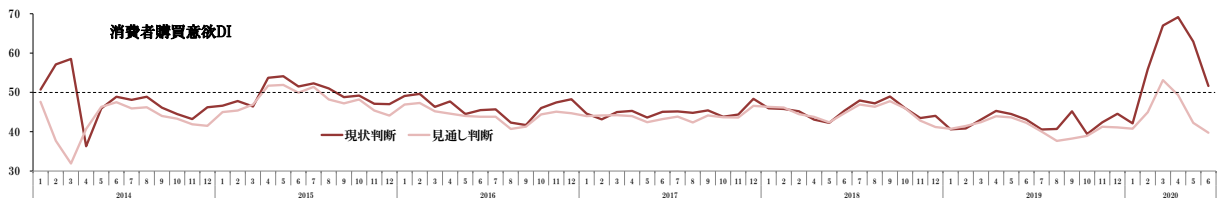
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	8.5	16.5	35.8	32.4	6.8	53.1
【現状】景気判断 (当月)	3.0	34.5	40.5	20.2	1.8	45.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	14.3	40.6	34.3	9.7	1.1	35.7
【見通し】景気判断 (当月)	9.6	46.1	36.5	7.2	0.6	35.8



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は大幅に悪化も50を上回る水準を維持、見通し判断は小幅に悪化

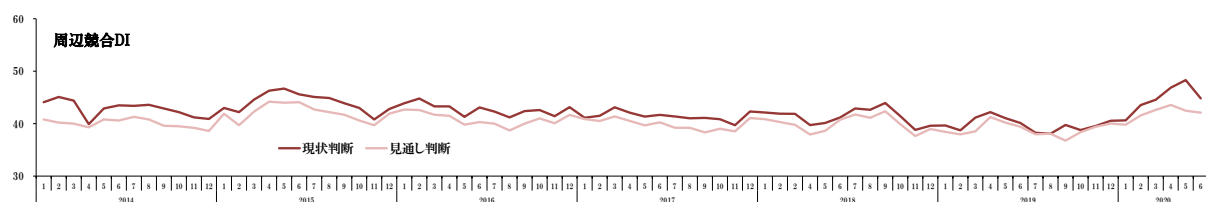
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.8	10.2	29.5	47.2	10.2	62.9
【現状】購買意欲 (当月)	1.2	26.6	39.1	30.8	2.4	51.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	9.8	32.8	38.5	16.7	2.3	42.2
【見通し】購買意欲 (当月)	7.1	39.9	41.1	10.7	1.2	39.7



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通しともほぼ前月水準で推移

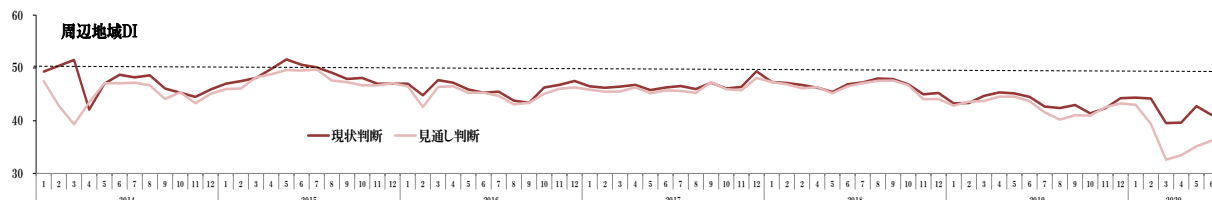
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.4	9.6	78.5	7.3	1.1	48.3
【現状】競合状況 (当月)	3.0	18.3	75.1	3.6	0.0	44.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.5	25.6	66.5	2.3	1.1	42.5
【見通し】競合状況 (当月)	3.6	25.0	70.8	0.6	0.0	42.1



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通しともに前月水準で推移

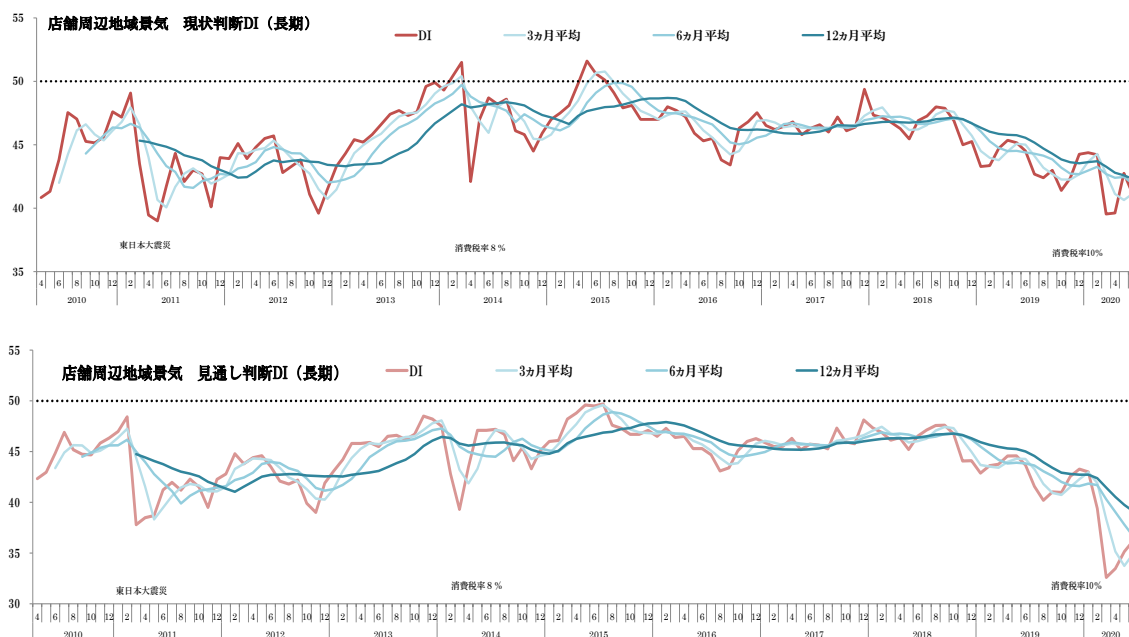
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	8.5	26.1	53.4	9.7	2.3	42.8
【現状】地域景気(当月)	4.2	31.5	60.7	3.0	0.6	41.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	13.7	38.3	42.3	5.1	0.6	35.1
【見通し】地域景気(当月)	7.2	41.9	49.7	1.2	0.0	36.2



・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向(2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

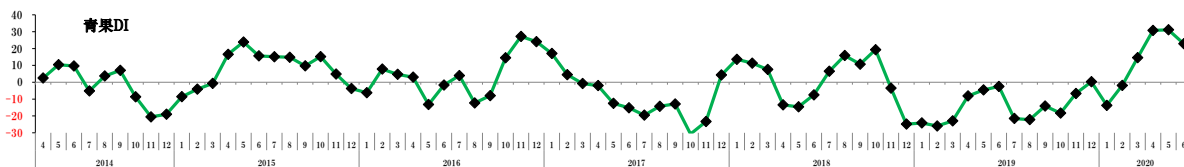
しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。20年2月から新型コロナウイルスの影響により大幅な低下がみられたが、5月以降はやや持ち直しているもの、下降トレンドは継続している。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：22.8（かなり好調）

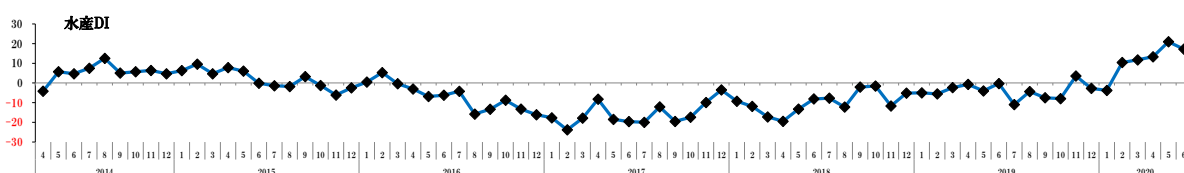
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	2.4	3.0	10.1	36.9	47.6	31.1
青果（当月）	3.1	5.6	17.3	45.1	29.0	22.8



緊急事態宣言の解除後も家庭での調理用食材への需要は高止まりしており、全般的に野菜の買い上げ点数の増加傾向が継続している。また青果相場が前年より高値傾向となっており、特にじゃがいもやにんじん等土物類の上昇幅が高く、一品単価を引き上げた。気温が高くトマトやレタスなどサラダ向け野菜が好調となった。梅は不作により販売期間が短く大幅に売上を落とした店舗が多い。果物類は、輸入果物ではバナナやキウイフルーツが引き続き好調、国産果物は高値であり好不調が分かれているが、気温の影響でスイカが好調となった店舗が多い。

2. 水産DI：17.2（好調）

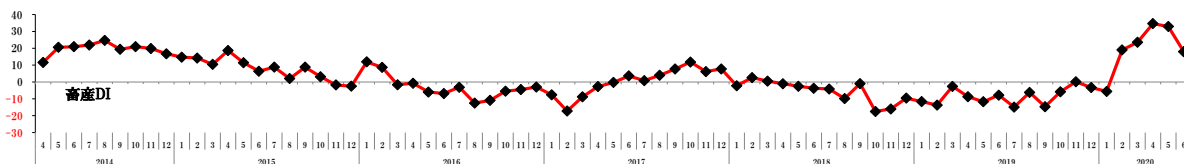
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	3.6	11.3	16.1	35.7	33.3	21.0
水産（当月）	5.6	6.8	21.7	44.7	21.1	17.2



緊急事態宣言の解除後も家庭での調理用食材への需要は高止まりしており、買い上げ点数の上昇がみられており好調となった。これまで好調であった保存可能な冷凍商材や塩干類には落ち着きがみられている一方、鮮魚や刺身類の動きがよくなった。うなぎは相場の低下も追い風となり特に好調となった。前年不漁により不振となったイカ類に回復傾向がみられた。カツオは不漁により不調となった店舗が多かった。

3. 畜産DI：18.0（好調）

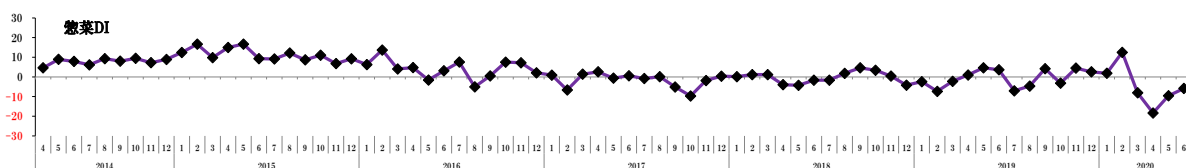
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	3.0	1.8	10.2	30.5	54.5	32.9
畜産（当月）	3.7	7.5	23.6	43.5	21.7	18.0



まとめ買い傾向は落ち着きがみられているものの、家庭での調理用食材への需要は高止まりしており、土日が前年より一日少ない曜日巡りにもかかわらず全般的に好調となった。特に高い気温により焼肉向け商材の動きがよく、なかでも和牛相場が下落しており、高単価商品が引き続き好調となった。国産豚肉は相場が上昇しており伸び悩んだ店舗もみられた。ハムやソーセージなどの加工肉は引き続き好調となっている。

4. 惣菜DI：-5.9（やや不調）

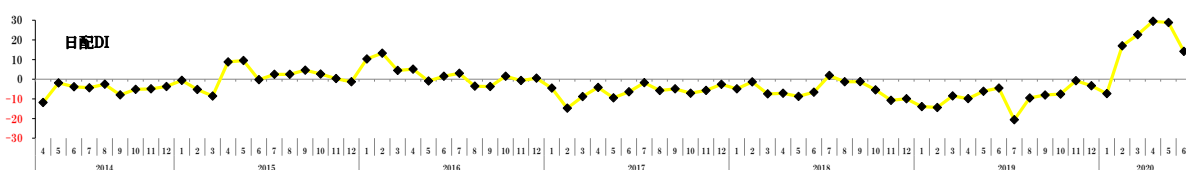
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	16.8	32.9	26.9	18.6	4.8	-9.6
惣菜（当月）	12.3	30.9	27.8	25.9	3.1	-5.9



徐々に緩和しつつあるものの、外出自粛による行楽向け、イベント中止による大人数用惣菜、家庭内調理機会の増加による中食需要の低下、ばら売り販売中止の影響を受け、やや不調傾向が続いている。気温が高く涼味関連の動きがよかった一方で米飯類の動きが悪かった。引き続き宅飲み機会の増加でおつまみ関連惣菜の動きがよかった。寿司類は一部に回復傾向もみられたものの不振となった店舗が多い。

5. 日配DI：14.2（好調）

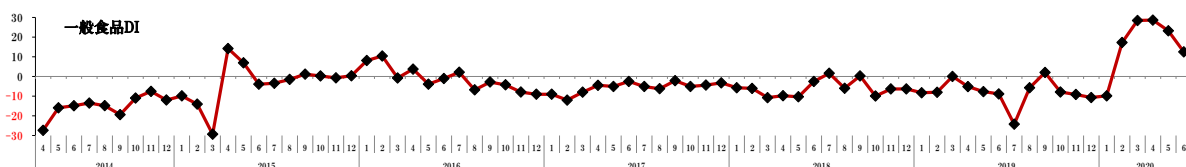
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.0	2.4	12.5	40.5	41.7	28.9
日配（当月）	3.1	13.0	24.1	43.8	16.0	14.2



先月と傾向は大きく変わらず、堅調な家庭内消費需要を背景に好調となった。保存可能な冷凍食品の好調は落ち着きもみられているが、牛乳やバター、チーズなどの乳製品をはじめ、免疫力アップとしてヨーグルトや納豆、キムチなど発酵食品の好調が継続している。高い気温によりアイス類やゼリー、麺類などの涼味系商材が好調となった。パン類は気温の影響もあり好不調がわかれている。昨年特需のあった梅干しや甘酒には反動減がみられた。

6. 一般食品：12.5（好調）

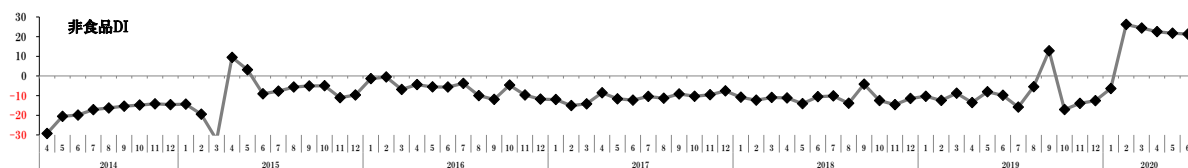
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.7	7.6	15.3	34.7	37.6	23.2
一般食品（当月）	6.1	12.8	19.5	48.2	13.4	12.5



先月と傾向は大きく変わらず、堅調な家庭内消費需要を背景に、手作り需要の増大を指摘するコメントが多かった。備蓄用食品には落ち着きがみられているが、調味料やパスタや乾麺、粉類など調理用食品引き続き好調となり、一部には欠品もみられた。高い気温により飲料やめんつゆが好調となった。酒類は、行楽需要減の影響と「家飲み」需要の高止まりにより強弱がわかれている。一部店舗では月末にキャッシュレス・消費者還元終了前の駆け込み需要もみられた。

7. 非食品 DI：21.3（かなり好調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	6.8	8.6	19.1	21.6	43.8	21.8
非食品（当月）	4.5	10.2	16.6	33.1	35.7	21.3



マスクやハンドソープ、除菌用品などの入荷が安定したことで好調に推移した。調理機会の増加により、ラップや保存パックなどの調理補助品、お菓子づくり用品も好調に推移した。また、在宅時間が増えた影響で、台所洗剤、住居用洗剤の売上も好調となった。レジ袋の有料化義務化にむけてマイバッグが好調となった店舗が多かった。キャッシュレス・消費者還元終了前にタバコに買いだめ需要がみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2020年7月調査（6月実績）キーワード TOP3

1. 家庭内調理機会の増加
2. 土日が一日少ない曜日巡り
3. 気温が高い

（参考）2019年7月調査（6月実績）キーワード TOP3

1. 日曜日が一日多い
2. 平年より高い気温も前年より低い、梅雨時期の遅れ
3. 消費意欲減退

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

6月実績速報版 169社
 5月実績確報版 176社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp